

2025年3月8日（土）14:00-16:30

仙台防災未来フォーラム

『東日本大震災と能登半島地震・豪雨

-何が引き継がれ何が引き継がれなかったのか?』

主旨説明

姥浦道生

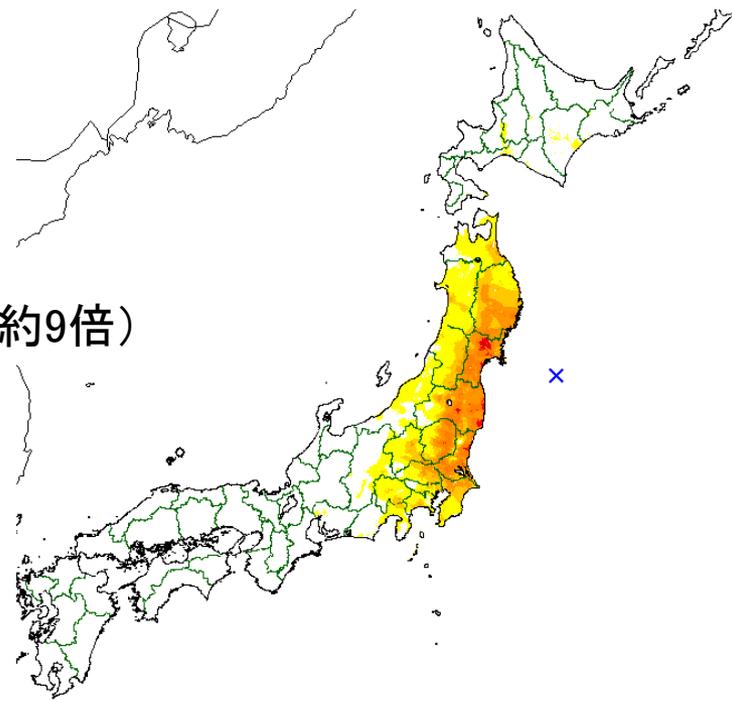
(東北大学災害科学国際研究所)

ubaura@tohoku.ac.jp



東日本大震災

- マグニチュード9.0
- 最大震度7（栗原市）
- 死者・行方不明者：22,010人
- 全壊家屋：121,089棟
- 津波浸水範囲面積：約561km²（山手線内側の約9倍）
（消防庁・2016年3月8日現在）



【震源要素】
2011年03月11日14時46分 三陸沖 M7.9
【情報時刻】
2011年03月11日15時01分

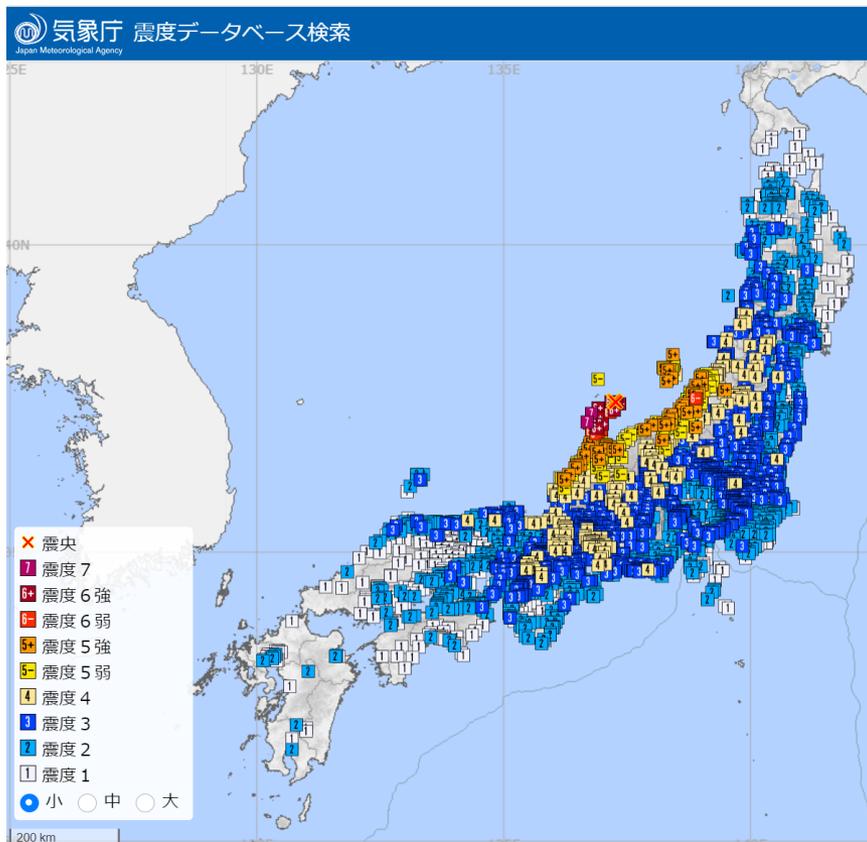
震度 4 5弱 5強 6弱 6強 7



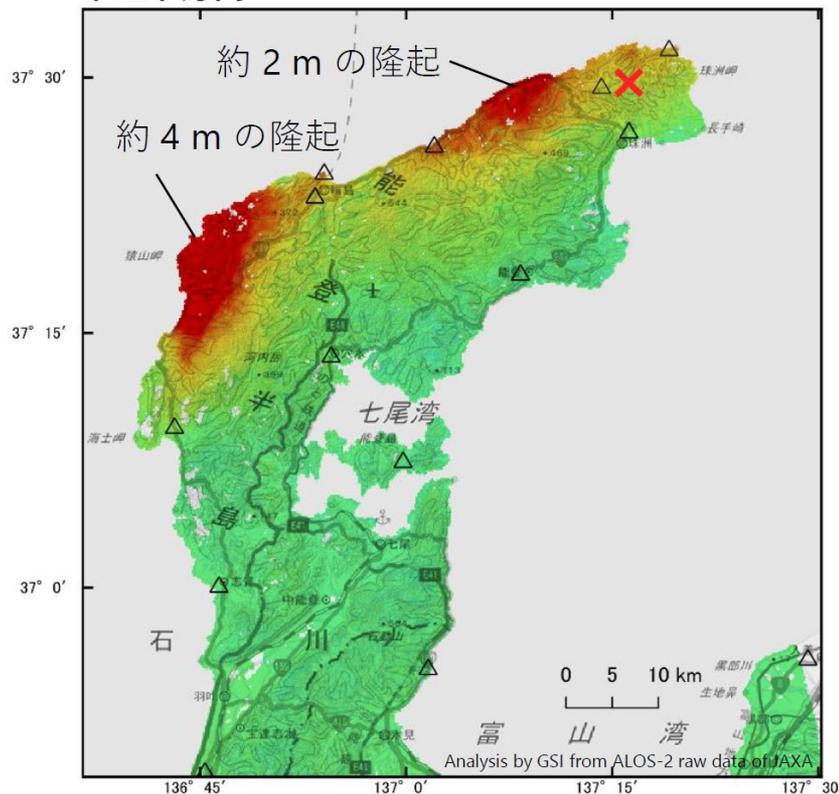
能登半島地震の被害概要

- マグニチュード7.6
- 最大震度7（志賀町・輪島市）
- 死者・行方不明者:230人(直接死)

「令和6年能登半島地震に係る被害状況等について」
非常災害対策本部10月1日現在



準上下方向



「令和6年能登半島地震の評価」
地震調査研究推進本部地震調査委員会

地震による多様な被害



地震による建物倒壊



火災被害



津波被害



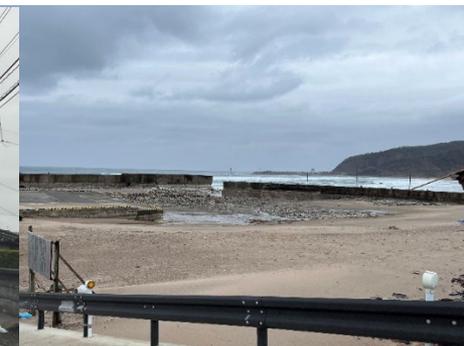
土砂災害



液状化被害



側方流動による地盤被害



地盤隆起に伴う港湾被害



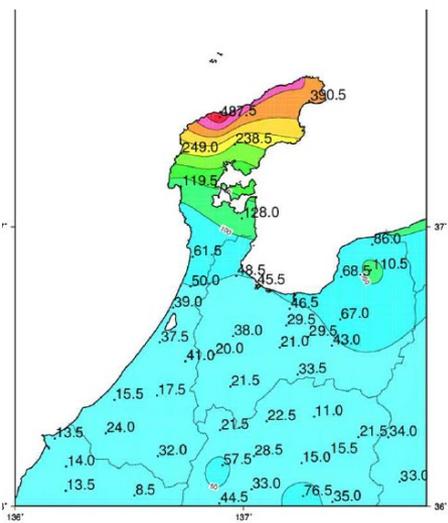




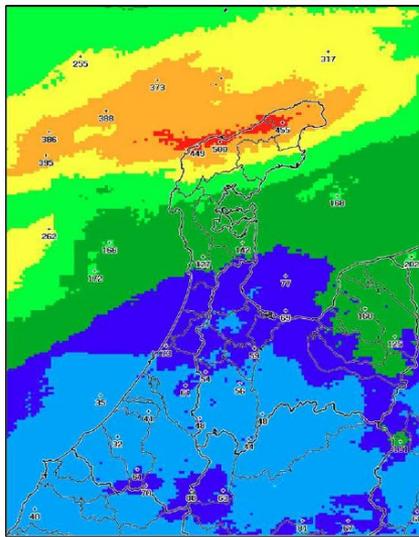




(出典：金沢地方気象台)



アメダス積算降水量分布図
(9月21日00時から9月23日24時)



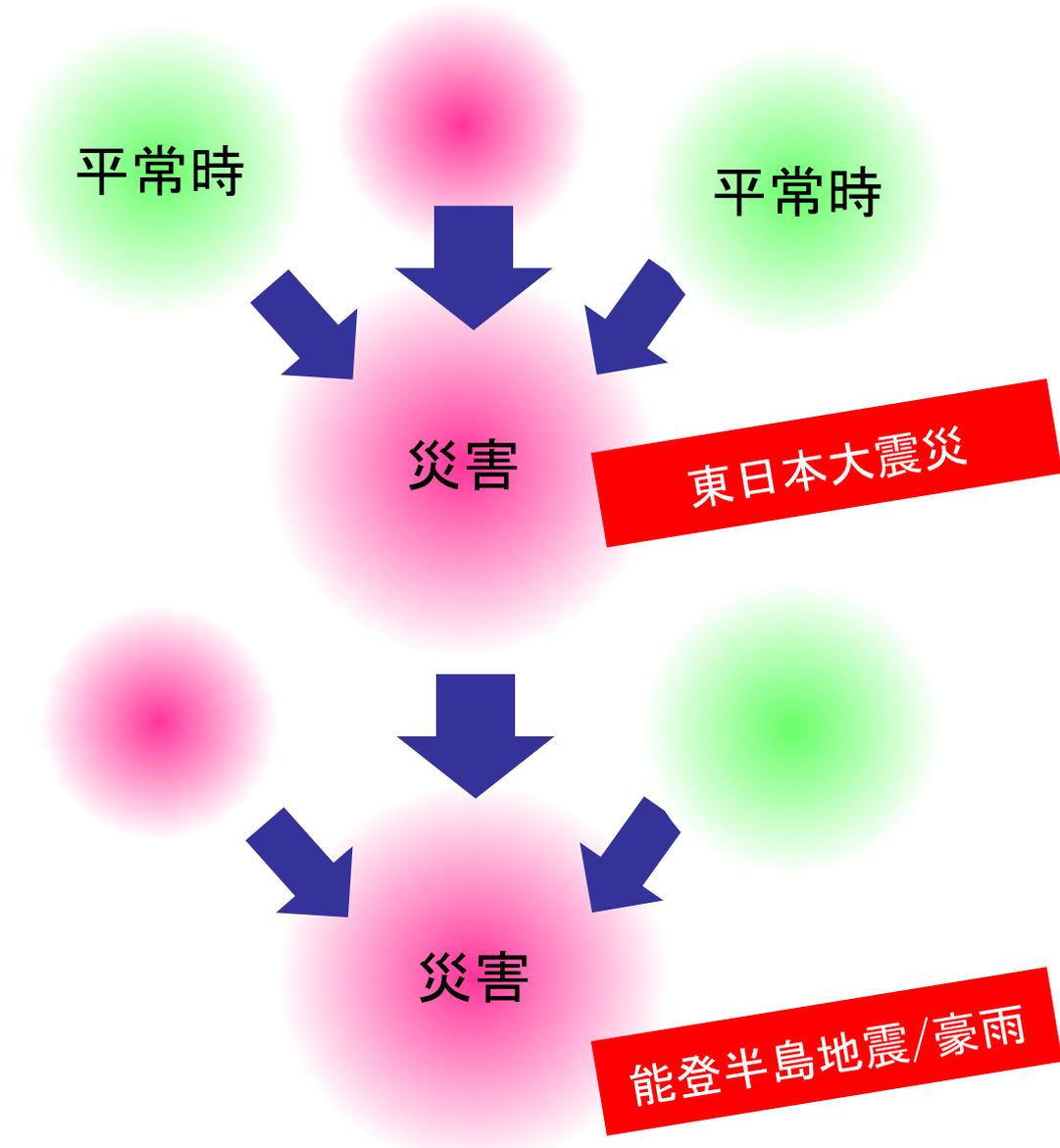
積算解析雨量分布図 (72時間)
(9月21日00時から9月23日24時)



…心折れるかもです



災害から災害へ「知」の受け渡し



- 東日本大震災と能登半島地震・豪雨における初動期の災害対応・復旧を対比しつつ、何が引き継がれて、何が引き継がれるべきだったのに引き継がれなかったのか、逆に何が新たに考えるべきだったのに引き継がれてしまったのか。これらを明らかにすることを通じて、災害間の技術的継承のあり方について横断的に考えることを目的とする。



プログラム

- 「能登半島地震と防災教育～「脅しの防災教育」から「共生の防災教育」へ」
青木賢人氏(金沢大学)
- 「災害医療からみた東日本大震災と能登半島地震 何が引き継がれ、何が引き継がれなかったのか」
江川新一氏(東北大学災害科学国際研究所)
- 「災害支援団体から見た東日本大震災と能登半島地震・水害」
大塩さやか氏(ピースポート災害支援センター)
- 「東日本大震災 と 能登半島地震 ～復旧復興におけるマンパワーについて～」
後藤寛氏(輪島市・石巻市)